

疾患解明と治療法開発の最前線を学ぶ 骨髄異形成症候群(MDS)



mds foundation
the myelodysplastic syndromes foundation, inc.

日時 2022年11月5日(土) 13時~17時

会場 フラクシア八重洲(東京駅八重洲口) ※案内地図、下部参照

参加方法 会場参加、YouTube視聴共に申し込みは不要です。
但し製薬企業社員さんの会場ご参加はおひとり2,000円(領収書を用意しております)

同時配信 つばさチャンネル(つばさYouTube)

<https://www.youtube.com/channel/UCiHGaJ-gOcMlenYixl-OtcQ>



骨髄異形成症候群(MDS)はどのような疾患か、また治療法や薬について、日本と世界の最前線の知見を共有しましょう。
疾患の解明と新規治療法の開発の現況を学び、力をいただく1日です。

座長

長崎大学病院 血液腫瘍内科/
長崎大学原爆後障害医療研究所

宮崎 泰司 先生

総合
司会

NPO法人
血液情報広場・つばさ

橋本 明子

I 基本理解

1. 疾患解明の現況

MDSの原因となる遺伝子異常について最近様々な新しい報告がなされております。両親から遺伝する先天的な遺伝子異常や、血液細胞にだけ起こる後天的遺伝子異常が解明されてきました。

京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学 牧島 秀樹 先生

2. 新たな国際予後予測とMDSの新分類

新しいMDSの予後予測と新分類(WHO分類とICC分類)ではゲノム変異情報が多く取り入れられています。

東京大学医科学研究所 血液腫瘍内科 南谷 泰仁 先生

3. 世界の治療動向について ※同時通訳あり

MDS財団推薦講師

II 語り合い・分かち合い

- ・発症から15年の経過と現在の治療を報告します。MDSの解明と治療法開発に期待して、新たな連絡会の出発に参加

一般社団法人MDS連絡会理事/前MDS連絡会代表 星崎 達雄 さん

- ・16歳で診断されて29歳で非血縁造血移植。AYA世代から青年期までのMDS闘病の経緯をお話します。

NPO法人血液情報広場・つばさ理事 後藤 千英 さん

III MDSを囲む日本の医療とこれから

1. 治療成績の向上

いま、診断と薬物療法および移植療法、支持療法などの向上による総合的成果として、MDSの治療成績は確実に進んでいます。

NTT東日本関東病院 血液内科 臼杵 憲祐 先生

2. 新規治療薬剤の開発動向

日本からも有望な薬の第1相試験の結果が発表されるなど、新しい治療薬剤の開発(新規分子標的薬や抗体治療薬など)が進んでいます。

長崎大学病院 血液腫瘍内科/長崎大学原爆後障害医療研究所 宮崎 泰司 先生

IV Message ※同時通訳あり

‘MDSの研究向上に期待して、これからも連携を’

MDS財団より

問い合わせ先 NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503(祝祭日を除く月~金 12時~17時)

技術協力:マルコテクノロジー株式会社 通訳:西澤伊津子さん

協賛
団体

MDSfoundation <http://www.mds-foundation.org>
一般社団法人 MDS連絡会
NPO法人血液情報広場・つばさ <http://tsubasa-npo.org/>

賛助
企業

大原薬品工業株式会社、 Bristol-Myers Squibb株式会社、 ノバルティスファーマ株式会社、 協和キリン株式会社、
アッヴィ合同会社、 ヤンセンファーマ株式会社、 日本新薬株式会社、 中外製薬株式会社、 大塚製薬株式会社、
武田薬品工業株式会社、 アムジェン株式会社、 シンバイオ株式会社、 ジェンマブ株式会社、 ムンディファーマ株式会社、
富士製薬工業株式会社、 マーシュ・フィールド株式会社、 アステラス製薬株式会社、 ファイザー株式会社

